

日本一の”住都市ふくやま”へ

新春のお喜びを申し上げます
皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。
2018年清水寺で行われた平成最後の一文字は『災』でした。福山市でも豪雨災害により甚大な被害を及ぼしました。私にとっても豪雨による河川氾濫・土石流被害で駅家山守にボランティアに入り、県政への想いを馳せる一年になりました。そこで私の挑戦における基本的な概念をお伝えします。

有限会社 DC 開発研究所 代表取締役 村上 栄二



2020

FUKUYAMA



村上栄二 HP
「村上栄二 official site」
<https://www.eijimurakami.com/>
こちらの QR コードからもアクセスいただけます。

前号では福山駅前再開発において国の政策が地方の実情と見合っていないという事を述べ、最後に伏見町に触れました。伏見町開発の方向性を含めて前回の続きをお話します。

福山駅北口と福山駅南口の土地等価交換を実現

- ・ 2018年5月に駅裏北口で福山城遺構調査を進めていたのはこの伏線だったのか！！
年内で進めた事は政策スピードが速いです。このスピード感は、枝広市長が国土交通省主計局主計官（平成15年）などを歴任していた事が大きいです。
- ・ 福山駅北口には JR 西日本により城が見える6階建ての商業施設・ホテル、さらに5層の立体駐車場も創設する予定で、渋滞緩和及び駅前に行っても空き駐車場がないという課題も大きく改善されることが期待できます。
- ・ 私が2017年8月に経済リポートで駅前構想した様に福山駅南口も大きく変わります。地下送迎場もこれまで福山市はJRに対する予算も使っていただろうし、土地交換で地下空間利用も大きく変える事が可能になります。



2017年8月経済リポート掲載記事

私からは土地等価交換が現実味を帯びてきた事に伴い、以下の2点ほど提案です。

① 福山駅前交番の建設

福山駅前伏見町交番がありますが、バイクも路上駐車が出来ず交番内に駐車しています。
サイレンの音は犯罪抑止力となります。駅前繁華街は、迅速な対応を求められるからこそ、駅前交番には是非ともパトカー設置を含めて考えて頂きたいです。



② 伏見町観光バス誘致

伏見町東側に観光バス誘致のための防災拠点兼ねた駐車場はどうでしょう？
福山駅前にビジネスホテルが出来て、マンションも増えています。災害時に炊き出しやトイレ設置などを想定した防災拠点兼駐車場があっても良いのではないのでしょうか？
観光バス駐車場とする事で観光客による福山駅までの導線が出来て JR 側としてはサステ利用促進となります。
また、現在福山市が官民で進めている伏見町開発ビジネスに後押しとなる起爆剤的要素になるのではないかと思います。